

GREEN Rotary-Club



2011-2012年度 テーマ

国際ロータリー

「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」

R.I. 会長 カルヤン・バネルジー

地区方針

「心機一転」

R.I. 2720 地区 ガバナー 本田 光廣

熊本グリーンR.C.

「力を合わせよう」

熊本グリーンR.C. 会長 江上 泰弘

■ 例会 日：毎週月曜日 18:30~19:30

■ 例会 場：熊本市城東町4-2

熊本ホテルキャッスル

TEL 096-326-3311

■ 創 立：平成元年2月22日

■ 会 長：江上 泰弘

■ 幹 事：松山 優喜

■ 会報担当：河野 景治

■ 事務所：熊本市城東町4-2

熊本ホテルキャッスル内

TEL 096-354-4521

FAX 096-354-4053

E-mail: kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2012年4月23日】

第1043回

2011-2012年度 第37回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

・熊本グリーンRCソング「友と語ろう」

2. 食事と交歓

来訪者の紹介

なし

友情の握手

会長スピーチ

(山下 隆生 副会長)

先日、熊本北ロータリークラブとの合同例会の時に、点鐘の音の大きさの事をガバナー補佐に聞きました。人それぞれみたいなので、今日は、大きめにしてみました。やはり、例会開始なので、大きい方がいいですね。

今日は、嫁から預かってきた告示を便乗してお話させていただきます。

リレー・フォー・ライフくまもと2012の告示です。がん患者や家族、その支援者が交代でタスキをつなぎながら24時間交代で歩き、がんを克服への願いを新に絆を深め合う催しです。

白川公園で、5月12,13日の二日間行われます。がんを意識することにより、早期発見に努め、意識向上につながると思います。

少しでもかまいませんのでご参加よろしく願いいたします。

幹事報告

(松山 優喜 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

なし

■ 例会変更・取止め

● 熊本'05福祉RC

5月1日(火)の例会は、定款第6条第1節に基づき、取止めます。

出席報告

田中 純司 クラブ管理運営委員

	会 員 総 数	26名	出 席 率
4月23日	出席免除会員数	1名	78.26%
	計算上会員数	25名	
	出席会員数	18名	
4月9日	前回の出席会員数	14名	83.33%
	メイクアップ数	6名	
	修正出席会員数	20名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
3/23 熊本菊難RC 松村 君			
4/12 熊本北RC 石浦 君			
4/13 熊本中央RC 大友 君			
4/14 地区協議会 中島 君、仙波 君、荅 君			



卓話
予定

5/7 「子供の進学学習について」

学校法人 熊本壺溪塾学園 学監 岡畑 寛 氏(熊本西稜RC)

5/14 「新旧クラブ協議会」例会:18:30~19:00 新旧クラブ協議会:19:00~20:30

5/21 「ワンピース構想」絶版漫画古本屋から文庫店主 橋本博氏

5/28 「ホテル鑑賞会」★例会場所変更 例会場所「亭の元」ホテル観賞場所「瑞巖寺公園付近」

[熊本グリーンR.C.ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

委員会報告

「第4回ほろニガ会」の案内

報告者:ほろニガ会世話人 河島 一夫 会員
第4回「ほろニガ会」を行います。今回は「フレンチの鉄人」坂井宏行シェフのハワイ初出店を記念して、本場のポリネシアンダンスグループで数々の賞に輝いている「テヴァイウラヌイ」との“夢の競演”です。多数の参加をお待ちしております。

日時:5月27日(日) 18:30 受付・19:00 開演
場所:ホテルキャッスル 2F「キャッスルホール」
参加費:

ほろニガ会員・・・3,000円
ビジター・・・12,000円

スマイル 松村 秀逸 会員

●山下 隆生 君・松山 優喜 君

「①先週、木曜日に合同例会があったので、またすぐ例会がやって来た感じがします。」

「②本日は急遽、会長代理を勤める事になりました。嫁さんから告示を頼まれたので便乗させていただきます。山下隆生」

●河島 一夫 君

「初夏になってしまいました。お体に気を付けて下さい。しかし、早朝はとても涼しくて気持ちの良い季節です。」

●松村 秀逸 君

「昨日はジャガイモと玉ネギの手入れの予定でしたが、又も雨で朝から中止になり、夕方畑に行ってみたら少しは出来ると思い、1人で夕方ジャガイモの土かえをしました。玉ネギの畑の草が大きくなって玉ネギがかわいそうです。時間の都合がつく人はいつでも良いですからお願いします。お願いのスマイルです。」

●十時義七郎 君・大友 利行 君

「今が1番いい季節です。地区協議会の報告を楽しみにしています。」

●葉 高源 君

「先日は妻の誕生日に綺麗な花を戴き有難うございました。その上1度もお祝いをして頂き本当に有難うございました。」

●廣坂 彰雄 君・栗山 義則 君・長野 義文 君
「先日の大分での「地区協議会」出席の皆様、大変お疲れ様でした。本日の報告よろしくお願ひします。松村秀逸会員、車の運転ありがとうございました。」

3. 例会プログラム

「地区協議会報告」

司会:河島 一夫 会員

①会長・幹事部会

山下佳介次期会長

②管理運営部会

田中純司次期クラブ管理運営委員長

③研修委員会

仙波洋八次期地区研修副委員長

④広報IT部会

中島光司次期クラブ広報委員長

⑤会員増強拡大部会

蒼 孝之次期会員増強副委員長

⑥奉仕プロジェクト部会

松村秀逸次期奉仕プロジェクト委員長

⑦ブライダル少子化対策部会

栗山義則次期奉仕プロジェクト委員

⑧新世代奉仕・ローターアクト・ライラ部門

石浦順一次期ローターアクト担当長

⑨ロータリー財団部門

廣坂彰雄次期ロータリー財団委員長

⑩米山奨学部会

河島一夫次期米山奨学担当長

①会長・幹事部会

山下佳介次期会長



2012-2013 年度国際ロータリー会長は30年ぶり日本人3人目八潮RCの田中作次氏、テーマは「奉仕を通じて平和を」です。2012-2013 年度ガバナーは大分中央RCの

岡村泰岳氏。大分臨海RAC出身。

岡村ガバナーは次の3つの地区目標を掲げられました。

1. 基本的なロータリーの考え方を皆で学んでいこう。

2. 誠実な職業の実践のもとにビジネスの交流の拡大をしっかりやって行こう。

3. 「元気なクラブ」を作っていこう。

3に関しましては特に会員増強2720プロジェクトの推進を特に言われました。

また女性会員の入会も力を入れて行きたいという事でした。

その他には地区役員に女性会員を沢山登用、ガバナー事務所の熊本に固定化等ありました。

またロータリーに関する情報、データーをUSBに入れて参加者全員に配布されました。データー量は紙にすると数千ページに上るそうです。

最後に次年度ガバナー公式訪問は北RCとの合同で7月9日(月)に開催されますので皆様よろしくお願ひします。

②管理運営部会

田中純司次期クラブ管理運営委員長



4月14日 土曜日
2012-2013 年度 第2720 地区の地区協議会に出席し、管理運営部門の部門別協議会に出席しました。永田壮一部門長の管理運営部門の活動計画についての説明があり

りました。主に以下の2項目の説明でした。

1. クラブ奉仕委員会

- 1) ロータリー情報の時間を各クラブ毎例会に設ける。
- 2) 卓話者ネットワークを利用し、卓話の時間に充実を各クラブに促す。
- 3) 管理運営部門セミナーを開催する。

2. 戦略計画委員会(大森委員長)

- 1) 各クラブに戦略委員会を設置するように促していく。
- 2) 中・長期計画の策定。
- 3) 各クラブの評価を実施して効果的クラブ運営を提案する。

1. のクラブ奉仕委員会については必ずしもつくらなくて良いとのことで、我がクラブでは、クラブ管理運営委員会活動で充分かと思われます。

2. 戦略計画委員会についてはクラブ管理運営委員会だけでなく、会長・幹事が中心に計画、活動を行うように進めるべきものと考えます。

③研修委員会

仙波洋八次期地区研修副委員長



ロータリー創設105年。当然のこととして制度疲労やマンネリ化などが指摘されるようになりました。また、ベテランと若い会員の間に、ロータリーに対する考え方の違いも生まれています。

伝統や価値観が時代と共に変わって行くのは当たり前のことと言ってしまうとそこまでのことになります。RIは数年前からC. L. Pの

提案や呼称の変更など対応策を模索しているように思えますが、まずはロータリーの基本理念をしっかりと身につけて貰う事が重要であるとの認識のようです。従って各クラブに研修委員会を設けて、クラブ内研修を充実、実行してもらいたい。との指示がありました。

④広報IT部会

中島光司次期クラブ広報委員長



ロータリーの週報や、ガバナー月信をホームページで見れるようにして印刷費を削ったり、FAXではなく、メールで送信したりとペーパーレスをしたら経費がだいぶ抑えられるのではないかとのお話をされていましたが、質疑応答の時に、

ロータリーの会員は年配の方も多いので、その方々がIT化について行けず苦手意識が出てきてRCが楽めなくなるのではないかと話も出ていて、急なIT化はいいかなものかという話になりました。

⑤会員増強拡大部会

蒼 孝之次期会員増強副委員長



新しい会員を入れるのは勿論大切ですが、入会してもすぐ退会していく会員が多いので、その問題をどのように解決していくかと話を中心でした。

たとえば入ってすぐに忙しい部門の委員長や役職に就けると、その会

員さんには負担が多く、気が重い会に入ってしまったと思ってRCを楽しめなくなり、退会したくなってしまう人も多いようなので、入会3年位は忙しい役職には就けずに、かつ、推薦者が良く新入会員の相談役になってやって新入会員の退会をいかに少なくするかに力点を置いていきたいという事でした。

⑥奉仕プロジェクト部会

松村秀逸次期奉仕プロジェクト委員長



部門別協議会は、リーダーが瑞木一博地区社会奉仕委員長、リーダー補佐が吉村圭四郎地区職業奉仕委員長でした。まず、アドバイザーの緒方基一パストガバナーよりご挨拶があり、続いて

リーダー瑞木様、リーダー補佐吉村様の挨拶で始まりました。

次年度の計画としては10月の職業奉仕月間を中心に職業奉仕の啓発活動として、情報提供や推進活動を持続的、継続的に行っていくとの事でした。又、啓発活動の一環として地区の職業奉仕セミナーの開催を大分地区で行いたいので、ホストクラブの引き受けをどこかのクラブにお願いしたいとの事でした。

特に、社会奉仕委員長は各クラブの社会奉仕事業の取組について、ネットワークを広げてクラブどうして同じ目標に向かって協力したらどうかとの提案をされました。

次に、各クラブではどのような活動をしているか発表をして欲しいとの事で、いくつかあった中で2つほど紹介しますと、人吉RCでは、人吉・球磨の写真集とカレンダーを7,000部作製し約80万円の販売益金を上げ、それを南相馬市に寄付したとの事でした。又、阿蘇RCでは、地区資金を利用して60万円のソーラー時計を寄贈したとの事でした。

又、「効果的な奉仕プロジェクト」とは何かの説明があり、これは問題の応急処置だけでなく、以下の要素を含んでいないといけなそうです。

- ・支援を本当に必要としている問題に取り組む。
- ・地域の人々の生活を向上させる。
- ・恩恵を受ける側の人々の技能や知識を生かす。
- ・すべての参加者の貢献を重要かつ必要なものとして認め感謝する。
- ・利用可能なリソースを調べた上で実施する。
- ・測定可能な目標を定める。
- ・効果的なネットワークを築く。
- ・人々と地域社会の能力を高める。

以上8項目を考慮して行って下さいとの事でした。

最後に基調講演をされました講師の廣畑富雄様がお話になった中で、ロータリーの原点は職業奉仕であり、それは神から与えられた仕事(天職)を通じて「人の為になる」考えや行為をする事とお話がありました。

⑦ブライダル少子化対策部会

栗山義則次期奉仕プロジェクト委員



会員募集の方法で、今使っている申込書類ではあまりに詳しく書かなければならないので、もっと簡単な様式に変えて、ロータリアンの推薦と、名前、年齢くらいで申し込める様にしたいと言う事でした。その後で詳しい本人の事は提出したらということでした。現在熊本、大分、芦北の三ヶ所で婚活パーティーが行われた様ですが、参加者が少ないので応募の方法を考えようという事でした。

⑧新世代奉仕・ローターアクト・ライラ部門

石浦順一次期ローターアクト担当長



各クラブの共通課題としてまして会員減少もしくは会員不足により例会が成立しないという問題がクローズアップされました。

この人的問題を解決する策として複数クラブの連合体でアクトを構成し安定的に運営するという方法

が全国的にも主流になっているとの事でした。

またアクトの活動を安定且つ活発に運営する為にも予算を含め親クラブとの関わり方を常に親密にし魅力ある相互クラブ運営を目指そうとの意見交換を致しました。

近隣クラブの動向と致しまして玉名RCが次年度に向けローターアクト設立準備に入るとの事でした。こちらはインターアクト提唱クラブであり既存会員をインターアクトからそのままローターアクトへ誘導できれば人的問題も無くなるとの事でしたのでこれも安定運営の為の有効な一つの方策であると認識しました。

⑨ロータリー財団部門

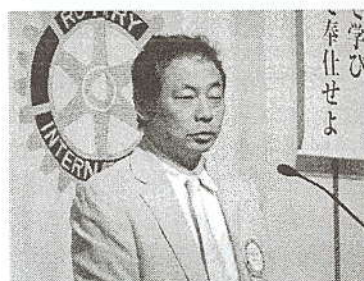
廣坂彰雄次期ロータリー財団委員長



次年度はいよいよ「未来の夢計画」の準備が始めなければならない年度です。従来のR財団プログラムは本年度(2012~2013年度)で終了し、新たに「未来の夢計画」へ移行します。その為改正に向けて

の準備も行われ、新しく「未来の夢計画推進国際奉仕委員会」が設けられました。従来の地区補助金委員会「補助金管理委員会」に、専門の職業研修の「職業研修チーム委員会」「ポリオ・プラス資金推進委員会」「学友委員会」、の4つに前記の「未来の夢計画…委員会」と併せ、5つの委員会が設けられました。「寄付をすると共にそれを有効に利用する。」事を考え有意義なプロジェクトの計画と申請をお願い致します。R財団のプログラムは「教育的プログラム」「人道的補助金プログラム」「ポリオ・プラスプログラム」の3プログラムに大別され、「補助金管理委員会」は「人道的補助金プログラム」に属します。

⑩米山奨学部会



河島一夫次期米山奨学担当長

次年度の2720地区の奨学生は、二人増えて14名になる報告があった。国内全体では、800名だったが、資金不足で700名になったとのこと。

米山奨学資金は、普通寄付金と特別寄付金とあるのは、ご存じの通りです。半数程のクラブが、特別寄付金を行っていることが一覧表にてわかる。大分中央は、会員数が45名だが、83万円を行っている。一番多い額である。

我がクラブは、月500円の年6000円の普通寄付金だけであるが、米山月間の10月だけは、スマイルを米山奨学寄金として寄付したらどうかと提案する。